



事務所 伊那市西町5016-2 Tel(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 Tel(78)1121
 会長 山田 益 幹事 唐澤幸利 会報委員長本田敏和 第3002回 例会2023.9.14 No.1663



世界に希望を生み出そう

2023-24 年度 RI テーマ

CREATE HOPE
In the WORLD**ソング** 我等の生業**会長談話** 山田 益会長

「ペロブスカイト太陽電池」とは、今日大きな政治問題の再エネ洋上風力発電事業は、2050年カーボンニュートラル実現には又一つ大きな問題となっています。日本国内における再生可能エネルギーを最大限活用する事は大変重要です。太陽光発電を飛躍的に向上させる可能性を秘めた新技術「ペロブスカイト太陽電池」は、この課題を克服する次世代型太陽電池として注目されています。

現在の国内太陽光発電は、平地面積当たりの導入量は世界一位。現在の太陽電池は耐荷重の大きな建物や大規模な平地が必要で、発電できる適地が十分無いのが現状です。そこでこの課題を克服するのが既存の技術では設置できなかった耐荷重の小さい建物やビルの壁面等にも設置できるのが「軽くて」「曲がる」次世代太陽電池「ペロブスカイト太陽電池」です。ペロブスカイトとは、灰チタン石という鉱物でこの鉱物と同じ結晶構造を「ペロブスカイト」と呼びます。そしてこの結晶構造を太陽電池に使う事を「桐蔭横浜大学」の宮坂力教授グループが発見して、2009年特許が公開されペロブスカイト太陽電池の開発が始まりました。

ペロブスカイト太陽電池の優れた点は、材料を塗布や印刷で作れるため大量生産が可能で低コスト化が期待できます。また軽量で柔軟なため今まで難しかった壁面や小さな屋根にも設置可能です。原材料は海洋堆積物に含まれるヨウ素なので、ヨウ素の国内生産量は世界第二位です。



積水化学工業は、独自開発技術で10年相当の屋外耐久性を確認したフィルム型ペロブスカイト太陽電池を開発。発電効率も着実に向上していて建物の壁面に設置して実証実験を開始しています。令和7年の事業化を目指しています。

京都大学発ベンチャー企業も「ペロブスカイト太陽電池」の開発に立ち上がっています。

「ペロブスカイト太陽電池」ならではの 변환効率の高さ、形状が比較的自由に柔軟性が有り軽量という利点が有望とみています。そしていろいろの機器内部の独立電源となる用途として自動車、航空、宇宙、腕時計やいろいろのセンサー端末が考えられます。

幹事報告 唐澤幸利幹事

1. 国際ソロプチミストより、2023年度新会長のお知らせです。新会長 原 孝子様

☆お知らせ

- ・地区大会に参加希望の方は、明日9月15日(金)までに事務局までご連絡下さい。
- ・次回の例会は9月28日(木)「ガバナー公式訪問」です。例会終了後、理事会を開催致します。役員・理事の方はご出席下さい。

委員会報告

唐澤幸利幹事より、10月22日(日)にポリオ根絶を目的として開催される、地区補助金合同事業「古着 de ワクチン」についての説明がされた。

「古着 de ワクチン」とは、キットを注文するだけで認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会」を通じて開発途上国の子供達にポリオワクチンが届けられる仕組みです。



1セットにつき、5人の子どもの命を救うことが出来ます。

送った衣類は、カンボジアを始め、世界中で再利用されます。

会場はかんてんパパ西ホール。

出席報告 会員数 57名 内出席免除者 20名
出席者 31名 事前メールキャップ0名 出席率72.09%

ニコニコボックス

・山田 益、唐澤幸利 池田幸平 G 補佐、ようこそいらっしやいました。

指名委員会委嘱

山田 益会長より、第 65 期役員・理事候補者指名委員の委嘱がされた。

ガバナー補佐ご挨拶

上伊那グループガバナー補佐 池田幸平様

皆さんこんにちは。ガバナー補佐を務めます池田です。上伊那グループ補佐としてお役に立てるよう、未熟ながら一生懸命努力いたします。

すでに御案内が届いていると思いますが、今年度はポリオ根絶活動の一環で「古着 DE ワクチン」のイベントを上伊那グループ全体で実施することになりました。いろいろとお世話になりますが、一年間よろしくお願い致します。

ゴードン・マッキナリーRI 会長は「世界に希望を生み出そう」をテーマとしポリオ根絶の実現に向けた取り組みや、メンタルヘルスを支援するためのプロジェクトを優先的に行ってゆくとし、これまでの取り組みを継続し前進させることの重要性を強調しました。

それを受けて折井正明ガバナーは「手をつなぎ行動するロータリーの喜びを発信しよう」をスローガンに、ロータリー行動計画をポリオ根絶活動を通じて、地区全体として明確に実現することを地区の方針としました。ポリオ根絶に向かって手を取り合い共に行動することの喜びを実感し、そのことを世の中に広く発信することが大切だと考えたからです。



おかげさまで皆様のご協力により上伊那グループはその趣旨に沿って、「古着 DE ワクチン」のイベントを一丸となって実施できることになりました。心から感謝申し上げます。

今日は事前訪問と言うことで、スライドを見て頂きながら説明をさせていただきます。



「希望は、夢を現実にしたいと強く願う人たちの夢、創造力、そして 勇気の中にあります」

ポリオワクチンの開発者

ジョナス・ソーク博士

